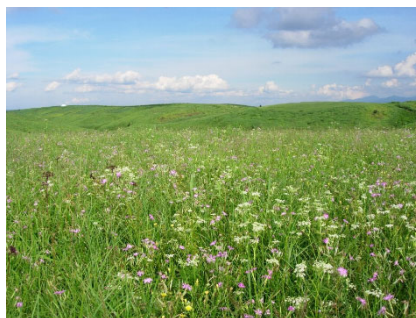


阿蘇の草原の野草を利用した農産品 生産・流通を通じた草原環境の保全

—景観保全機能—

あそそうげんさいせい

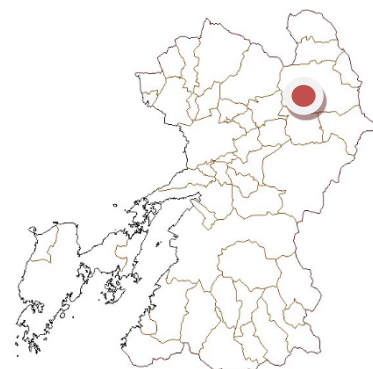
阿蘇草原再生シール生産者の会



草原の風景

阿蘇の草原の野草を利用した農産品の生産・流通を通じて野草の利用を増やし、草原環境を保全することを目的に会を設立した。

各会員が野草を堆肥として利用して農産物を生産し、「阿蘇草原再生シール」を貼って出荷・販売することで、野草資源の利用促進と草原保全を消費者にアピールし、阿蘇の草原再生と環境保全に貢献している。



熊本県阿蘇市

【景観の保全、生物多様性の保全】

広大な阿蘇の草原は、千年以上もの間、放牧や採草、野焼きなど人々が利用することで維持されてきたもので、この草原には約600種の植物が生育していると言われており、草原でしか見られない珍しい草花や動物も生息している。

しかし、近年は農家の減少とともに、野草の利用が減り、草原環境を維持することが困難となりつつある。そのような中、野草資源の利用拡大や消費者への理解促進に取り組むことは、草原の景観保全や多様な生態系の保全と再生につながっている。

なお、平成 25 年に当地域が「世界農業遺産」に認定されたことで、さらに活気が出てきている。



堆肥場と会代表



シールを貼った農産物



阿蘇草原再生シール



堆肥を使った農作物の栽培



農作物の販売状況
(消費者への理解増進)

